

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地

播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2020年10月～12月期 NO. 61

照会先 経営企画部
TEL 079-281-3939(代)
FAX 079-281-4667

【概況】 2020年10月～12月期の業況は▲25.9、前期比 9.2ポイントプラスと上向きました。
来期は姫路地域では低迷し、神戸地域では上向き見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

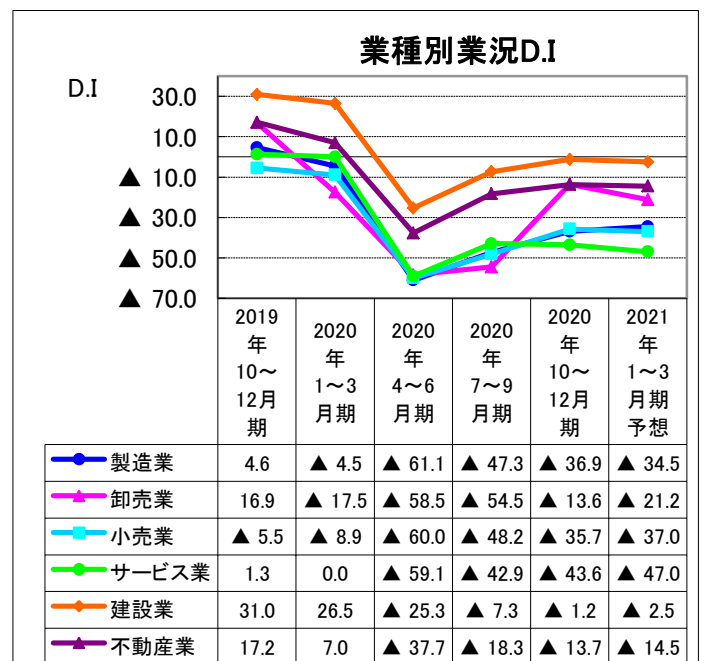
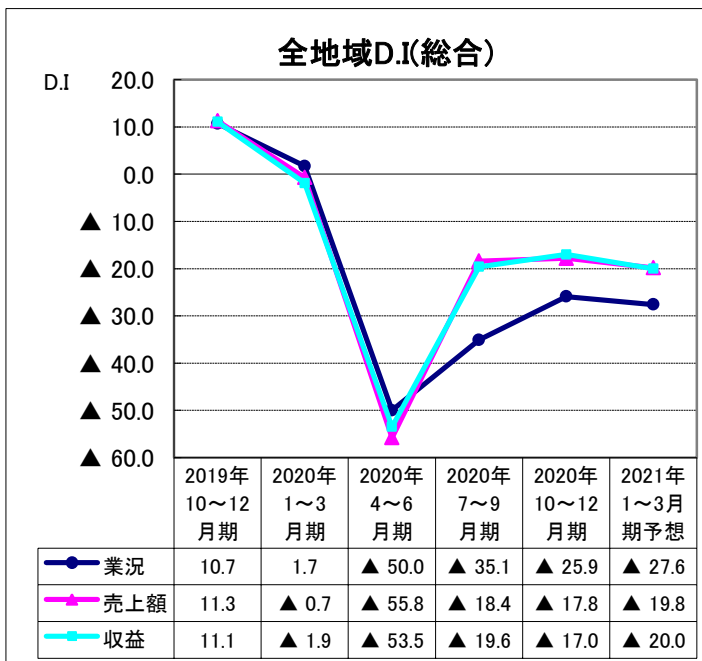
項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2020年7月 ～9月期	2020年10月 ～12月期	2021年1月 ～3月期予想	2020年7月 ～9月期	2020年10月 ～12月期	2021年1月 ～3月期予想	2020年7月 ～9月期	2020年10月 ～12月期	2021年1月 ～3月期予想
業況	▲ 35.1	▲ 25.9	▲ 27.6	▲ 36.1	▲ 26.6	▲ 30.1	▲ 33.3	▲ 23.1	▲ 22.8
売上額	▲ 18.4	▲ 17.8	▲ 19.8	▲ 23.7	▲ 20.7	▲ 24.1	▲ 14.2	▲ 14.2	▲ 14.5
収益	▲ 19.6	▲ 17.0	▲ 20.0	▲ 26.0	▲ 20.7	▲ 23.7	▲ 13.1	▲ 12.7	▲ 16.4
販売価格	▲ 5.2	▲ 5.4	▲ 4.7	▲ 7.6	▲ 8.6	▲ 6.4	▲ 4.0	▲ 2.6	▲ 2.9
仕入価格	1.7	2.7	0.3	1.1	▲ 0.4	0.4	1.8	6.2	1.5
在庫	1.6	▲ 6.1	▲ 5.4	0.5	▲ 6.0	▲ 4.0	2.0	▲ 8.8	▲ 7.7
資金繰り	▲ 4.1	▲ 3.0	▲ 1.7	▲ 6.9	▲ 4.1	▲ 2.6	▲ 1.5	▲ 0.7	0.7
人手	▲ 12.2	▲ 11.6	▲ 12.8	▲ 17.6	▲ 14.6	▲ 15.4	▲ 6.9	▲ 6.2	▲ 7.7
設備状況	▲ 5.9	▲ 6.5	▲ 7.8	▲ 5.9	▲ 5.8	▲ 7.6	▲ 5.9	▲ 6.3	▲ 7.4

2020年10月～12月期実績

《 サービス業以外の業種で上向き 》
当期の全地域の全業況D.Iは▲25.9、前期比9.2ポイントプラスと上向きました。
全地域の業種別ではサービス業以外の業種において上向きました。

2021年1月～3月期見通し

《 姫路地域では低迷し、神戸地域では上向き見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは▲27.6、当期比1.7ポイントマイナスと低迷する見通しです。全地域の業種別では、製造業以外の業種において低迷する見通しです。
地域別では、姫路地域では低迷し、神戸地域では上向き見通しです。



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2020年12月上旬

3. 調査対象期間

2020年10月～12月期実績（2020年7月～9月期との比較）

2021年1月～3月期予想（2020年10月～12月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

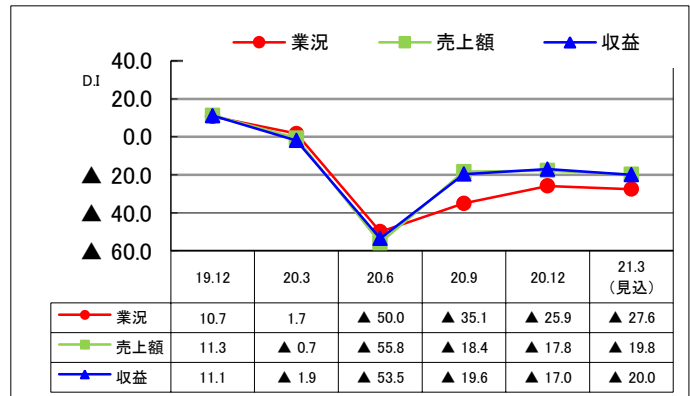
	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	111	99.1%
卸売業	66	66	100.0%
小売業	56	56	100.0%
サービス業	151	150	99.3%
建設業	84	82	97.6%
不動産業	131	131	100.0%
合計	600	596	99.3%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは▲25.9、前期比9.2ポイントプラス（前年同期比 ▲36.6）と上向きました。業種別では、サービス業以外の業種において上向きました。

来期予想D.Iは▲27.6、当期比1.7ポイントマイナスと低迷する見通しです。業種別では、製造業以外の業種において低迷する見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは▲17.8、前期比0.6ポイントプラス（前年同期比 ▲29.1）と持ち直しました。業種別では、小売業、サービス業において低迷しました。

来期予想D.Iは▲19.8、当期比2.0ポイントマイナスと低迷する見通しです。業種別では、製造業、小売業、建設業において上向き見通しです。

3. 収益

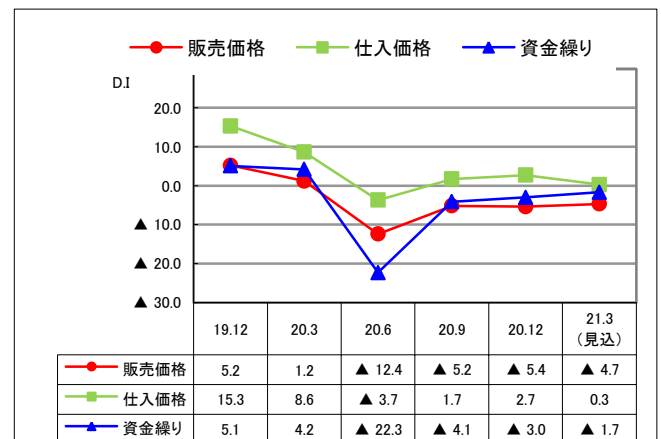
全業種における収益D.Iは▲17.0、前期比2.6ポイントプラス（前年同期比 ▲28.1）と持ち直しました。業種別では、サービス業以外の業種において改善しました。

来期予想D.Iは▲20.0、当期比3.0ポイントマイナスと低迷する見通しです。業種別では、建設業において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは▲3.0、前期比1.1ポイントプラス（前年同期比 ▲8.1）と厳しさが和らぎました。業種別では、製造業、サービス業において厳しさが増しました。

来期予想D.Iは▲1.7、当期比1.3ポイントプラスとさらに厳しさが和らぐ見通しです。業種別では、建設業、不動産業以外の業種において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは▲5.4、前期比0.2ポイントマイナス（前年同期比 ▲10.6）と下降幅が拡大しました。業種別では、製造業、不動産業において上昇しました。

来期予想D.Iは▲4.7、当期比0.7ポイントプラスと厳しさが和らぐ見通しです。業種別では、卸売業、不動産業において低下する見通しです。

6. 仕入価格

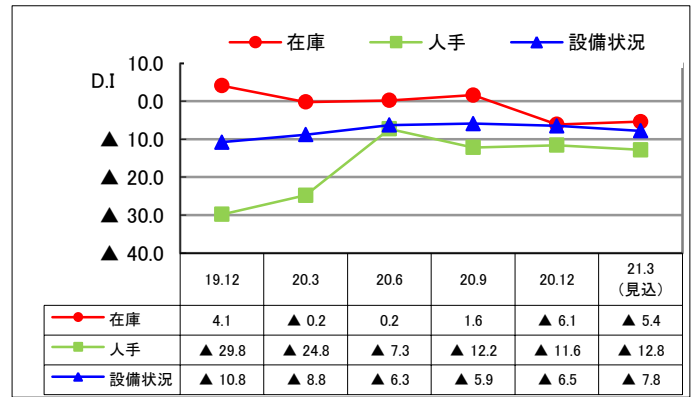
全業種における仕入価格D.Iは2.7、前期比1.0ポイントプラス（前年同期比 ▲12.6）と上昇幅が拡大しました。業種別では、製造業、小売業、不動産業において上昇しました。

来期予想D.Iは0.3、当期比2.4ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、建設業において上昇する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D.Iは▲6.1、前期比7.7ポイントマイナス（前年同期比 ▲10.2）と過剰から品薄へと転じました。業種別でも、全ての業種において、過剰から品薄へと転じました。

来期予想D.Iは▲5.4、当期比0.7ポイントプラスと不足感が改善する見通しです。業種別では、製造業、建設業で不足感が改善する見通しです。



8. 人手

全業種における人手D.Iは▲11.6、前期比0.6ポイントプラス（前年同期比+18.2）と不足感が改善しました。業種別では、卸売業、小売業、サービス業で不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲12.8、当期比1.2ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、卸売業、小売業、サービス業で不足感が強まる見通しです。

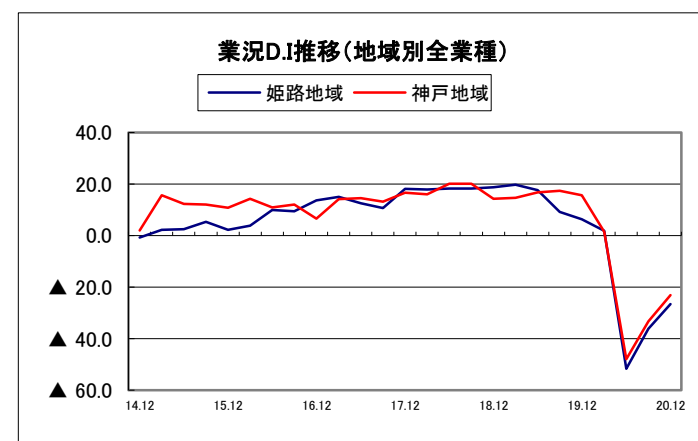
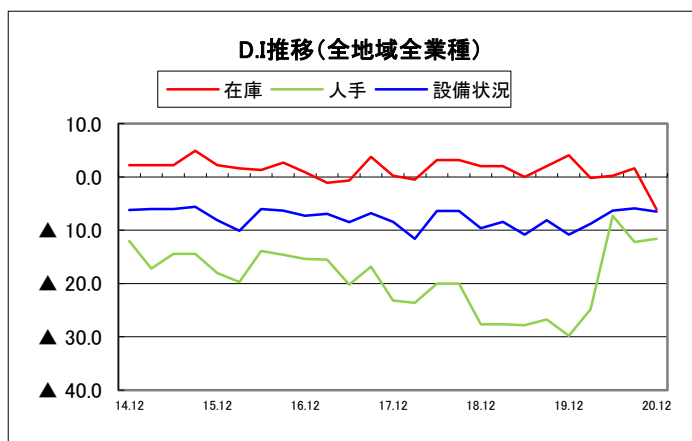
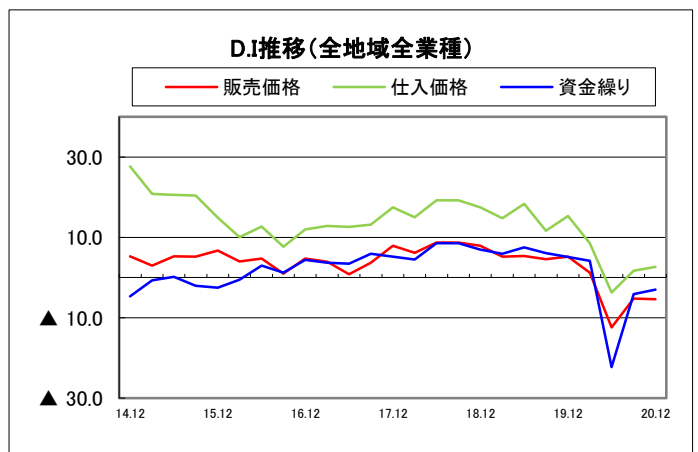
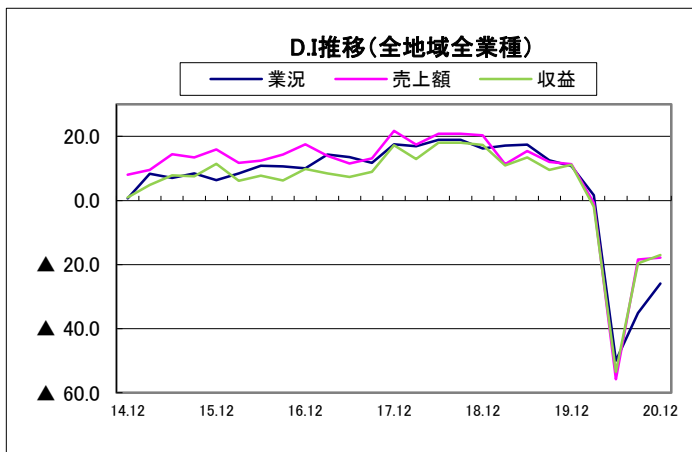
9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲6.5、前期比0.6ポイントマイナス（前年同期比+4.3）と低迷しました。

また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は22.2%、前期比▲0.5ポイントマイナス（前年同期比▲10.7）と減少しました。また業種別では、小売業において設備投資を行った企業の割合が増加しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は26.7%、当期比4.5ポイントプラスと増加する見通しです。

過去D.I推移



地域別景況D. I

□ 全業種総合

(姫路地域) 回答企業321企業 (回答率99.0%)
(神戸地域) 回答企業275企業 (回答率99.6%)

1. 業況

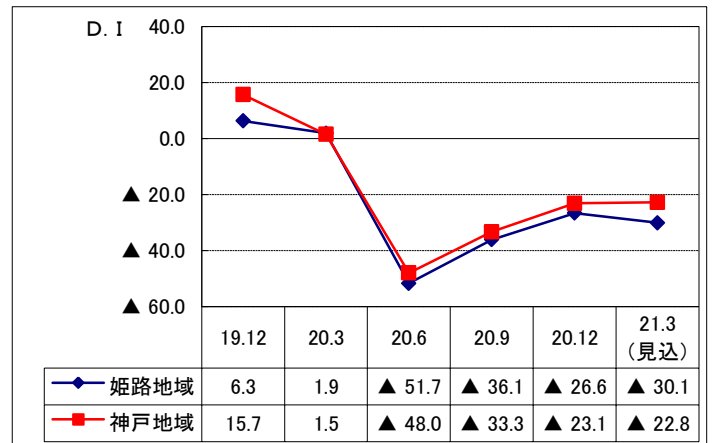
姫路地域の業況D. Iは▲26.6、前期比9.5ポイントプラス（前年同期比 ▲32.9）と上向きました。

来期予想D. Iは▲30.1、当期比3.5ポイントマイナスと低迷する見通しです。

神戸地域の業況D. Iは▲23.1、前期比10.2ポイントプラス（前年同期比 ▲38.8）と上向きました。

来期予想D. Iは▲22.8、当期比0.3ポイントプラスとさらに上向く見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも上向きました。



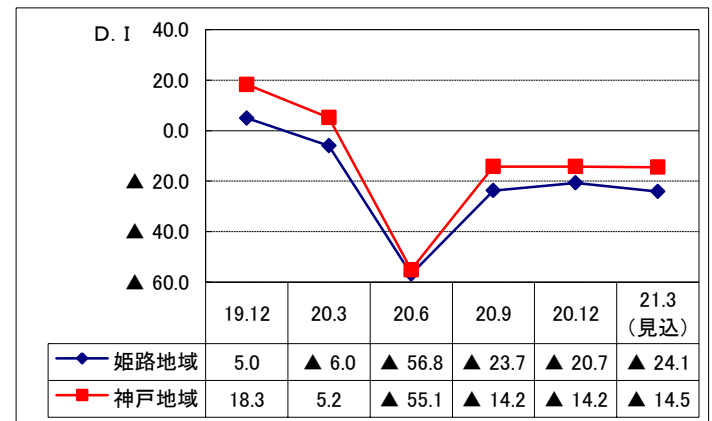
2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは▲20.7、前期比3.0ポイントプラス（前年同期比 ▲25.7）と持ち直しました。

来期予想D. Iは▲24.1、当期比3.4ポイントマイナスと低迷する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは▲14.2、前期と横ばい（前年同期比 ▲32.5）で推移しました。

来期予想D. Iは▲14.5、当期比0.3ポイントマイナスと低迷する見通しです。



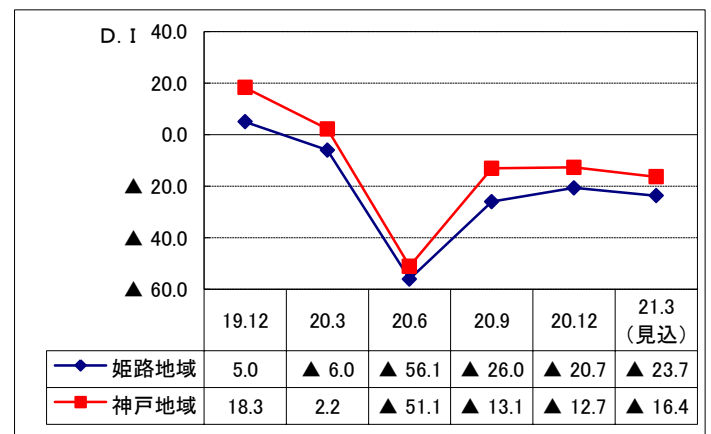
3. 収益

姫路地域の収益D. Iは▲20.7、前期比5.3ポイントプラス（前年同期比 ▲25.7）と持ち直しました。

来期予想D. Iは▲23.7、当期比3.0ポイントマイナスと低迷する見通しです。

神戸地域の収益D. Iは▲12.7、前期比0.4ポイントプラス（前年同期比 ▲31.0）と持ち直しました。

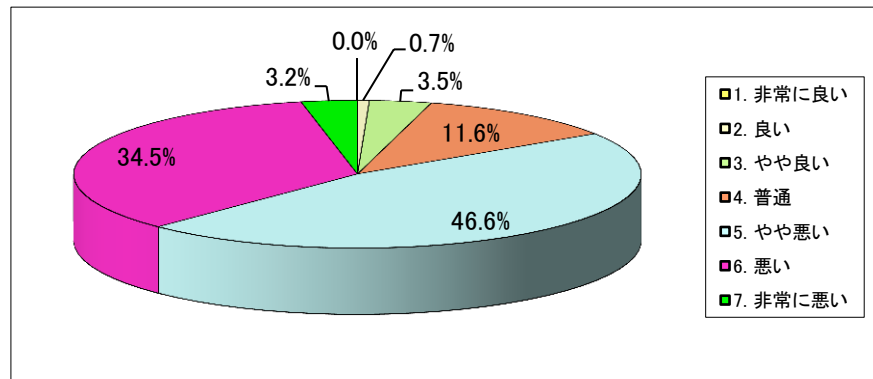
来期予想D. Iは▲16.4、当期比3.7ポイントマイナスと低迷する見通しです。



特別調査「2021年（令和3年）の経営見通し」

問1 貴社では、2021年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

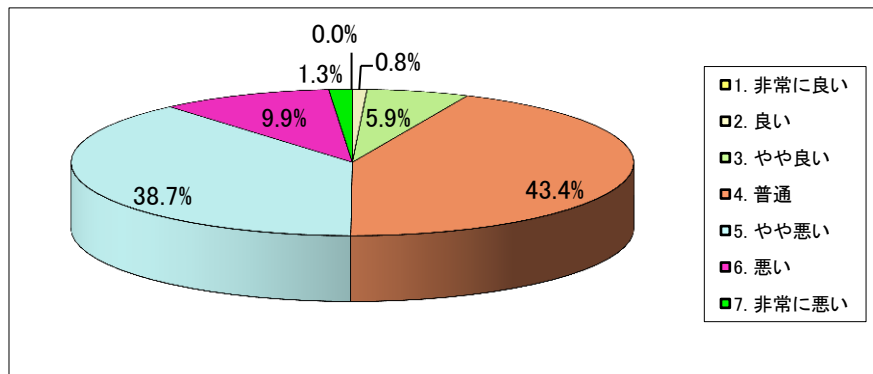
1. 非常に良い
2. 良い
3. やや良い
4. 普通
5. やや悪い
6. 悪い
7. 非常に悪い



2021年の日本の景気をどのように見通しているかについて、最も多い回答は「やや悪い」46.6%、次いで「悪い」34.5%という結果となりました。

問2 貴社では、2021年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

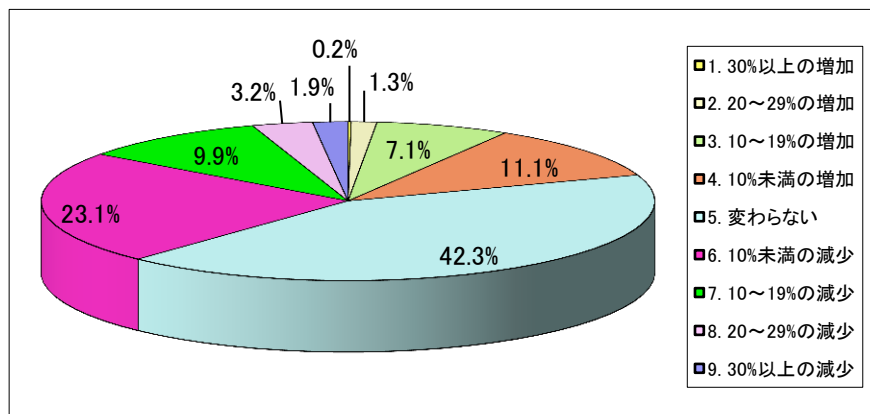
1. 非常に良い
2. 良い
3. やや良い
4. 普通
5. やや悪い
6. 悪い
7. 非常に悪い



2021年の自社の業況（景気）をどのように見通しているかについて、最も多い回答は「普通」43.4%、次いで「やや悪い」38.7%という結果になりました。

問3 2021年において貴社の売上額の伸び率は、2020年比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

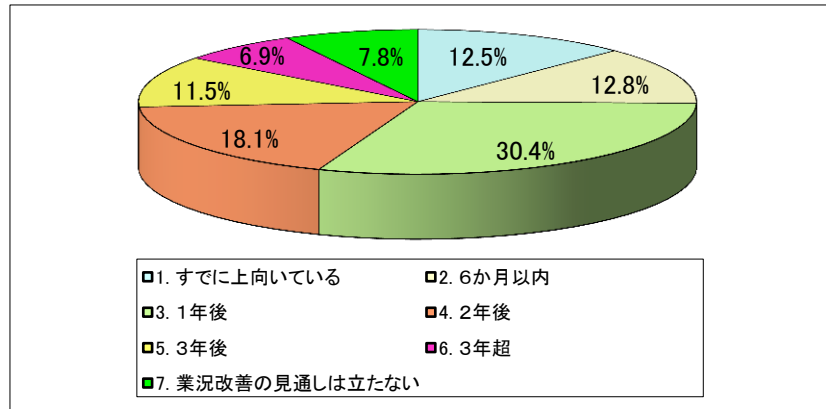
1. 30%以上の増加
2. 20～29%の増加
3. 10～19%の増加
4. 10%未満の増加
5. 変わらない
6. 10%未満の減少
7. 10～19%の減少
8. 20～29%の減少
9. 30%以上の減少



2021年において貴社の売上額の伸び率は、2020年比べておおよそどのくらいになると見通しているかについて、最も多い回答は「変わらない」42.3%、次いで「10%未満の減少」23.1%という結果になりました。

問4 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

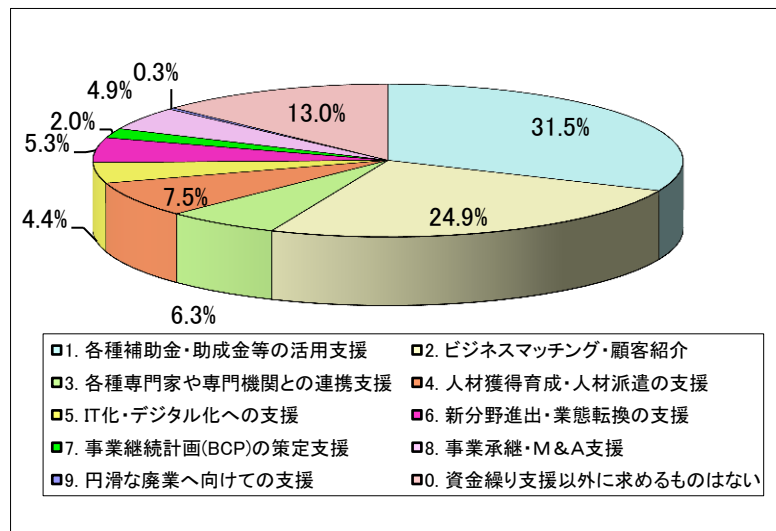
1. すでに上向いている
2. 6か月以内
3. 1年後
4. 2年後
5. 3年後
6. 3年超
7. 業況改善の見通しは立たない



自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通しているかについて、最も多い回答は「1年後」30.4%、次いで「2年後」18.1%という結果になりました。

問5 現下のコロナ禍において、貴社では、資金繰り以外の事業計画・戦略等の策定・実行支援として、地域金融機関に求めることはありますか。求めることがある方は、1～9の中から3つまで選んでお答えください。

1. 各種補助金・助成金等の活用支援
2. ビジネスマッチング・顧客紹介
3. 各種専門家や専門機関との連携支援
4. 人材獲得育成・人材派遣の支援
5. IT化・デジタル化への支援
6. 新分野進出・業態転換の支援
7. 事業継続計画(BCP)の策定支援
8. 事業承継・M&A支援
9. 円滑な廃業へ向けての支援
0. 資金繰り支援以外に求めるものはない



現下のコロナ禍において、貴社では、資金繰り以外の事業計画・戦略等の策定・実行支援として、地域金融機関に求めることはあるかについて、最も多い回答は「各種補助金・助成金等の活用支援」31.5%、次いで「ビジネスマッチング・顧客紹介」24.9%という結果となりました。